

モントリオールのジーザス (1989)

JESUS DE MONTREAL

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 カナダ／フランス

色彩 Color

時間 117分

初公開日 1990/03/23

公開情報 デラ

【キャッチコピー】

友だちよ、ありがとう。

【解説】

1989年のカンヌ国際映画祭で批評家賞を受賞した、ドゥニ・アルカン監督による人間ドラマ。教会からジーザスの芝居の上演を依頼されたダニエルは、一緒に演る仲間を探し、五人の人間を集めた。そして初演の夜、モントリオールの街を望む丘の上で上演された彼らの受難劇は、ユニークな解釈と趣向で、集まった観客や評論家の拍手喝采を浴びる。だがこの上演を依頼した司祭は、聖書の記述を覆す大胆な解釈に戸惑い、続演にあたって脚本の変更を要求してくる。この要求を頑としてはねつけたダニエルは、そのまま劇を続行するが、実力行使に出た司祭により、警察と観客との乱闘に巻き込まれ、磔となった十字架ごと地面に叩きつけられてしまう……。本作は、臓器移植という形でジーザスの“復活”をなぞらせ、そこに“現代社会における人生の意味”という大きな問題を投げかけた問題作でありながら、そのような重厚なテーマにユーモアを交え、生き生きとした軽やかなトーンにまとめあげているのが素晴らしい。

【クレジット】

監督	ドゥニ・アルカン	Denys Arcand
脚本	ドゥニ・アルカン	Denys Arcand
撮影	ギイ・デュフォー	Guy Dufaux
音楽	イヴ・ラフェリエール	Yves Laferriere
出演	ロテール・ブリュトー	Lothaire Bluteau
	カトリーヌ・ヴィルクナン	Catherine Wilkening
	ジョシヌ・マリー・トランブレ	